

## 廃食油からリサイクル燃料生産 [ 石川県・小松市 ]

情報収集官署名：北陸農政局 小松統計・情報センター  
☎ 0761-22-6143

[ 取組主体 ]	
名 称	リサイクルネットワークin小松
取組の範囲	小松市
開 始 年 度	平成14年度
[ 補助事業 ]	無

### 1 取組目的と概要

#### ( 目的 )

廃食油でリサイクル燃料を精製することにより、環境負担の軽減と循環型社会を目指している。

#### ( 概要 )

小松市のリサイクルネットワークin小松（構成員26名）では、小松市の委託を受けて、平成14年7月から廃食油からのリサイクル燃料の本格的な生産を始めた。

同ネットワークでは、市内の一般家庭（平均約500ℓ/月）、市立の保育所（平均約200ℓ/月）、小・中学校各1校（平均約100ℓ/月）から廃食油を回収し、回収した廃食油を廃食油リサイクル燃料製造装置に投入し、メタノールと苛性カリを加えて化学反応を起こした後、グリセリンを除去してリサイクル燃料を精製している。

精製したリサイクル燃料（精製品 100 %）は、同市のごみ収集車（パッカー車）4台に使用している。



< - リサイクル燃料製造装置 - >

### 2 取組の効果

#### ( 効果 )

14年度は廃食油の収集量が平均約600ℓ/月であったが、16年度には収集量が平均約800ℓ/月とな着実に伸びており、資源の有効活用が図られている。

### 3 現在の課題と今後の展開方向

#### ( 課題 )

現在、同市内の有線放送や市の広報で同取組の案内をし、廃食油の収集に努めているが、目標の1/2の量にとどまっていることから、市民に対するより一層の周知徹底が必要となっている。

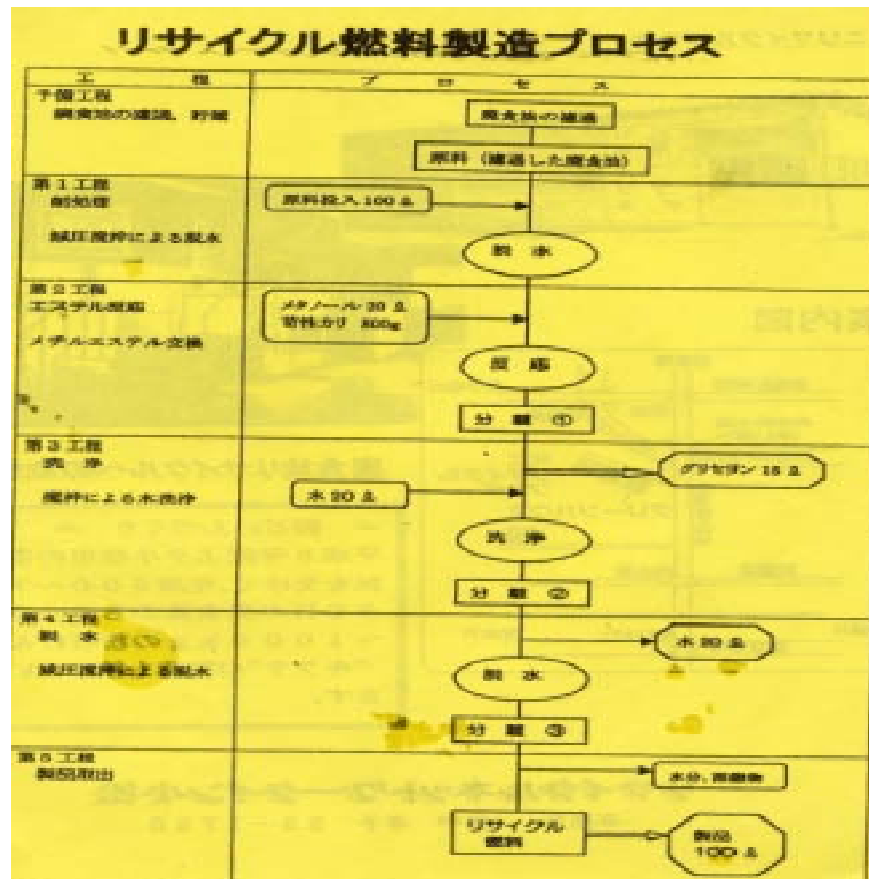
#### ( 展開方向 )

市民に廃食油の収集の周知徹底を図るため、ごみに関する学習会や町内会などの各種会合の場で、同取組を紹介し、PRを強化していく。

「廃食油からリサイクル燃料生産」の施設概要

施設名称	リサイクルプラザ	設置主体	小松市
運営主体	リサイクルネットワークin小松	施設整備費	設備導入費は6,300千円
主な設備	廃食油濾過装置 原料貯蔵タンク 攪拌機 廃食油リサイクル燃料製造装置 廃液処理槽	稼働状況	1日の稼働時間：1時間 年間の稼働日数：324日

【施設のシステムフロー】



バイオマスの回収と再利用の流れ

バイオマス名	発 生 源	距離	発 生 量	収集・運搬方法	施設処理能力
廃食油	町内	10km	500 ℓ / 月	メンバーが車両で回収	100 ℓ / 日
廃食油	保育所、 小・中学校	15km	300 ℓ / 月	メンバーが車両で回収	
再生バイオマス名	生 産 量		再生バイオマスの利活用先		
バイオディーゼル燃料	800 ℓ / 月		小松市のごみ収集車（パッカー車）4 台の燃料		